

# 農業用ダムの貯水状況調査 【大分県集計】

( 令和2年11月2日 12:00 現在 )

農村基盤整備課 水利整備班

都道府県名	管内	水系名	ダム名	有効貯水量 (千m3)	受益面積(ha)		管理者名	現貯水量 (千m3)	貯水率 (%)	前回調査との比較		平成(H22-R1)との比較		備考
					うち水田	10月1日時点 貯水率(%)				10月1日時点 との増減(%)	平成同時期 貯水率(%)	平成比(%)		
大分県	中部	大野川	石場ダム	2,154	948.0		野津土地改良区	1,961	91.0	93.7	△ 2.7	90.3	100.9	
	上流	大野川	大谷ダム	1,500	555.0	555.0	荻柏原土地改良区	820	100.0	100.0	0.0	93.9	106.5	
		大野川	大蘇ダム	3,890	1,865.0	767.0	大野川上流地域維持管理協議会	2,460	63.2	79.4	△ 16.2	—	—	令和2年4月1日調査開始
	大野	大野川	師田原ダム	2,912	1,160.0	284.0	大野町土地改良区	2,410	82.8	68.8	14.0	85.7	96.5	
	北部	桂川	並石ダム	1,429	670.0	255.0	並石土地改良区	1,429	100.0	93.4	6.6	92.6	108.0	
		駅館川	日出生ダム	7,160	3,917.0	3,211.0	駅館川土地改良区連合	4,225	59.0	58.6	0.5	55.7	106.0	
		駅館川	日指ダム	4,510	2,919.2	2,919.2	駅館川土地改良区連合	3,535	78.4	76.9	1.5	81.4	96.3	
		駅館川	香下ダム	2,020	363.6	363.6	駅館川土地改良区連合	1,647	81.5	78.6	2.9	67.1	121.6	
		駅館川	深見ダム	1,250	776.0	776.0	宇佐市	752	60.2	67.6	△ 7.4	61.0	98.6	
		合計		9	32,601	16,624.1	11,773.1							

※平成貯水量はH22年度～令和元年度の貯水量より算出、国報告は過去蓄積データ(ダムごと)全てより算出しているため、平年値は異なる。  
 ※大谷ダムは堆積量が680千m3程度あるため、貯水率については、堆砂量を考慮し、農業用水として利用可能な820千m3に対して算定している。

### 利水貯水量

大分県	北部	山国川	耶馬溪ダム	9,800			国土交通省	9,252	94.4	94.5	△ 0.1	89.8	105.1	有効貯水量は21,000千m3
-----	----	-----	-------	-------	--	--	-------	-------	------	------	-------	------	-------	-----------------

※平成貯水量は平成22年度～令和元年度の貯水量より算出。